６．交通

6-01　主要な幹線の断面交通量
・混雑度・旅行速度
6-02　自動車流動量
6-03　鉄道・路面電車等の状況
6-04　バスの状況

調査項目：6-01　主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

■調査目的　　都市政策立案の基礎となる路線別・地点別の自動車交通量の実態を把握する。

■収集方法

【a 収集項目】　平日・休日 12 時間（24 時間）自動車類交通量、ピーク時間交通量（台/時）、大型車混入率、平均混雑度（平日）、混雑時平均旅行速度

【b 収集範囲】　行政区域（主要幹線道路）

【c 収集単位】　各路線・観測地点

【d 収集方法】　・全国道路・街路交通情勢調査（一般交通量調査）報告書から収集。

収集データの例
全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査／箇所別基本表（2021） https://www.mlit.go.jp/road/census/r3/（URL❶）

【e 留意事項】　－

■作成項目

【f 原典リスト】

項目	原典データ	年次	入手先
・複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。 ・一括して同じ場合は「－」を記載。	○全国道路・街路交通情勢調査　一般交通量調査／箇所別基本表	最新年を記載	URL❶

※複数の原典データを元に作成している場合は行を追加する。
※原典データの入手先が URL の場合は d. 収集方法の「収集データの例」の URL を参照

【g 調書】

＜調書＞

（○○年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）報告書箇所別基本表をもとに作成）

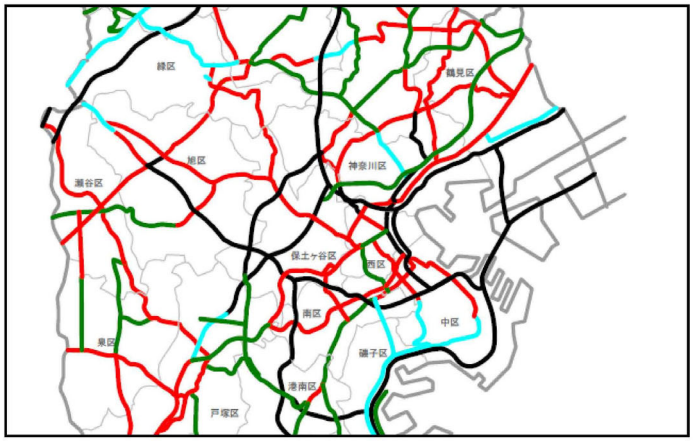
交通調査基本区間番号	路線名	観測地点名	平日昼間12時間交通量（上下合計）	平日24時間交通量（上下合計）	大型車混入率（昼間12時間）	混雑度	混雑時平均旅行速度（上り）	混雑時平均旅行速度（下り）	昼間非混雑時平均旅行速度（上り）	昼間非混雑時平均旅行速度（下り）
			台	台	%					
	…									

【h 位置図】

＜混雑時平均旅行速度分布図＞

・主要な幹線の断面交通量等を地図に表示する（作成イメージは下図を参照）。

（○○年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）報告書箇所別基本表をもとに作成）



出典：都市計画道路網の見直しの方向（案）（平成19年1月）、横浜市

（混雑時平均旅行速度分布図の凡例）

項目	面 色指定（RGB）		縁 色指定（RGB）		線の太さ
混雑時平均旅行速度（平日）					
20.0km/h 未満		255,0,0		なし	
20.0～24.9km/h		0,128,0		なし	
25.0～29.9km/h		0,255,255		なし	
30.0km/h 以上		0,0,0		なし	

【ｉ集計表】　　－

調査項目：6-02　自動車流動量

■調査目的　　都市政策立案の基礎となる市町村間の自動車流動量を把握する。

■収集方法

【ａ収集項目】　トリップ数（車種別（乗用車、貨物車等））

【ｂ収集範囲】　行政区域

【ｃ収集単位】　市町村間・都道府県間トリップ毎

【ｄ収集方法】　・全国道路・街路交通情勢調査（道路交通起終点調査）報告書から収集。

収集データの例
全国道路・街路交通情勢調査目的別 OD 表（都道府県間、平休別）（2021） https://www.e-stat.go.jp/statsearch/ files?page=1&layout=datalist&toukei=00600580&bunya_l=10&tstat=000001116435&cycle=8&tcl ass1=000001216542&tclass2=000001216544&tclass3val=0&metadata=1&data=1（URL❶）

【ｅ留意事項】　・データ利用の際は、各地方整備局の道路管理者に申請が必要。

■作成項目

【ｆ原典リスト】

項目	原典データ	年次	入手先
・複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。 ・一括して同じ場合は「－」を記載。	○全国道路・街路交通情勢調査　目的別 OD 表	最新年を記載	URL❶

※複数の原典データを元に作成している場合は行を追加する。
※原典データの入手先が URL の場合は d. 収集方法の「収集データの例」の URL を参照

【ｇ調書】　－

【ｈ位置図】　－

【ｉ集計表】

＜集計表＞

○○年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）報告書（自動車起終点調査）をもとに作成

発地＼着地		○○県			○○県	・・・
		○○市 トリップ/日	○○市 トリップ/日	・・・	・・・	
○○県	○○市					
	○○市					
：	：					

※市町村間データは公表されていないため各地方整備局の道路管理者に申請が必要。

調査項目：6-03　鉄道・路面電車等の状況

■調査目的　　鉄道等の運行頻度、利用者数を調査し、公共交通の利用実態を把握する。

■収集方法

【ａ収集項目】　路線・駅位置、運行本数（本/日（平日））、乗降客数（日平均）

【ｂ収集範囲】　行政区域

【ｃ収集単位】　路線・駅毎

【ｄ収集方法】　・各交通事業者資料から収集。

※路線及び駅の位置、運行本数以外の調書内容は、国土数値情報ダウンロードサービス（不動産・建設経済局）において提供される鉄道データの GIS データの活用が可能

収集データの例
国土数値情報鉄道データ（2020） https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N02-v2_3.html（URL❶）
各交通事業者の資料

【ｅ留意事項】　－

■作成項目

【ｆ原典リスト】

項目	原典データ	年次	入手先
・乗降客数	各交通事業者資料	最新年を記載	適宜記載
・複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。 ・一括して同じ場合は「－」を記載。	国土数値情報	最新年を記載	URL❶

※複数の原典データを元に作成している場合は行を追加する。

※原典データの入手先が URL の場合は d.収集方法の「収集データの例」の URL を参照

【ｇ調書】

＜乗降客調書＞

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））

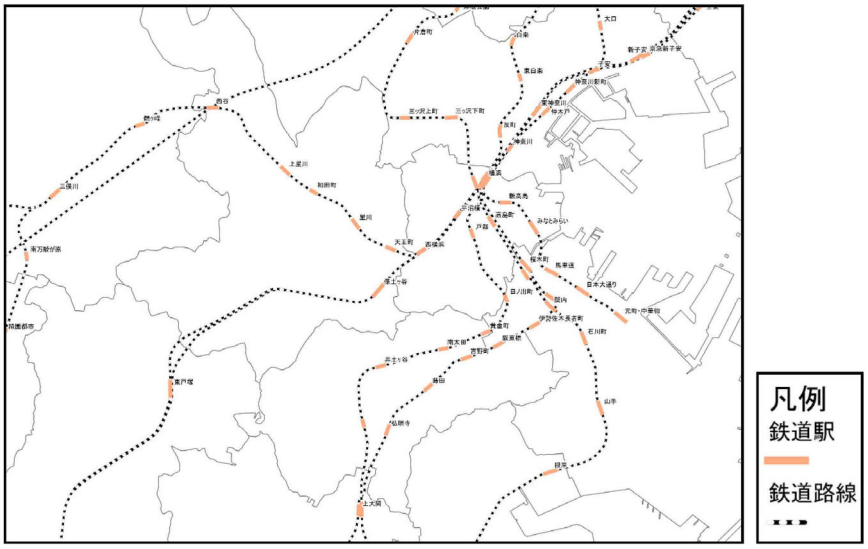
鉄道区分（コード）	事業者種別（コード）	線名	駅名	運営会社	運行本数（平日）（本/日）	乗降客数（人）
		・・・				

【ｈ位置図】

＜路線図＞

・路線分布、運行本数に応じ、運行状況図を作成する（作成イメージは下図を参照）。

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））



（駅・路線の凡例）

項目	面 色指定（RGB）		縁 色指定（RGB）		線の太さ
鉄道駅			▬	247,150,79	3pt
路線		なし	▪▪▪	0,0,0	1.5pt

【ｉ集計表】　　－

調査項目：6-04　バスの状況

■調査目的　　路線バス等の運行頻度、利用者数を調査し、公共交通の運行状況を把握する。

■収集方法

【a 収集項目】　乗降客数（日平均）、運行路線/停留所位置、運行本数（本/日）

【b 収集範囲】　行政区域

【c 収集単位】　路線毎

【d 収集方法】　・乗降客数は、一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書（運行系統別）から収集。バスデータを標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）でオープンデータ公開している地方公共団体等では、それらのデータが活用可能。
※参考として、国土数値情報において提供されるバスルート・停留所の GIS データの活用が可能

収集データの例
国土数値情報バスルートデータ（2010） https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N07.html

【e 留意事項】　・一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書は、各交通事業者から毎年各運輸局に提出されており、運輸局から入手する。

■作成項目

【f 原典リスト】

項目	原典データ	年次	入手先
・運行本数	・一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書	最新年を記載	適宜記載
・複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。 ・一括して同じ場合は「－」を記載。	・国土数値情報、各交通事業者資料等の資料名を記載	最新年を記載	URL❶

※複数の原典データを元に作成している場合は行を追加する。
※原典データの入手先が URL の場合は d.収集方法の「収集データの例」の URL を参照

【g 調書】

＜乗降客調書＞

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））

路線名	総数（日平均）（人）
・・・	

＜運行状況調書＞

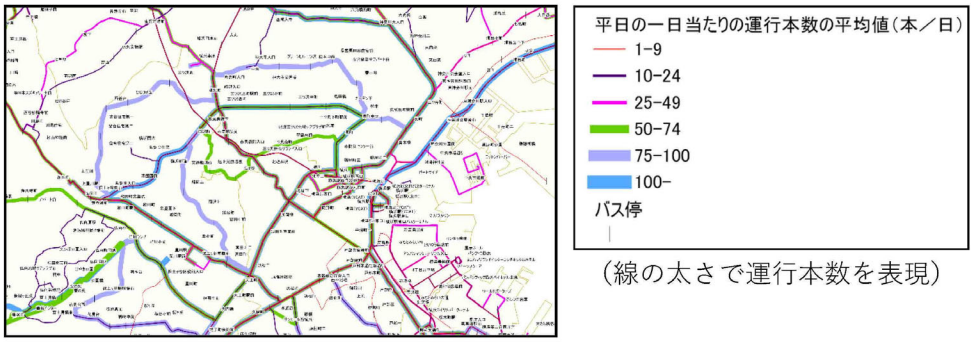
（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））

区分	事業者名	系統	運行本数（平日）（本/日）
・・・			

【h 位置図】

＜路線・駅位置図＞

・路線、駅の位置を地図に表示する（作成イメージは下図を参照）。



（線の太さで運行本数を表現）

（路線図の凡例）

（○○市（基準日：○○年○○月○○日現在））

項目	面 色指定（RGB）		縁 色指定（RGB）		線の太さ
平日の一日当たりの運行本数の平均値（本/日）					
1-9		なし		255,100,100	0.3pt
10-24		なし		90,10,130	0.5pt
25-49		なし		255,0,255	0.7pt
50-74		なし		100,200,0	0.9pt
75-100		なし		170,170,255	1.2pt
100-		なし		80,170,255	1.5pt

【ｉ集計表】　　－